

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社
 郵便振替口座 00150-2-48179
 東京都台東区東上野6-16-9
 織田ビル6F B号室
 〒110-0015 電話03(5811)1781(代)
 FAX03(5811)1782
www.kyoryoshimbun.co.jp

第1500号
 2022年 7月1日
 金曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
 購読料/年間96,800円・半年50,600円(税込)
 発行日 1・11・21日
 発行兼編集人 澤田繁男
 編集長 本間俊行

※本紙掲載の橋梁名やIC、JCT名は仮称も含みます。

21年度 全国橋梁設計・業務受注上位企業名 (単位:億円)

企業名	受注額
大日本コンサルタント	57.9
長大	40.9
オリエンタルコンサルタンツ	40.7
エイト日本技術開発	30.1
建設技術研究所	29.9
パシフィックコンサルタンツ	28.8
セントラルコンサルタント	22.0
中央コンサルタンツ	21.4
復建技術コンサルタント	20.5
八千代エンジニアリング	18.1
橋梁調査会	17.8
総合技術コンサルタント	15.4
いであ	14.7
日本工営	14.6
四国建設コンサルタント	14.2
中央復建コンサルタンツ	12.5
ドーコン	11.9
三井共同建設コンサルタント	11.6
日本構造橋梁研究所	10.3
千代田コンサルタント	10.3
日本インシーク	10.1

2021年度の全国の橋梁設計および業務の受注額トップは約57・9億円の大日本コンサルタントだった。同社の受注トップは3年連続で、受注額は前年度より約1・5億円増加した。受注上位10社のうち8社は前年度に引き続き10位以内を保っているが、このうち前年度より受注額が伸びたのは首位の大日本コンサルタントだけだった。(受注注額はすべて本紙独自集計)

大日本コンサルタントは19年度に約63・3億円受注で首位に返り咲き、20年度も約56・4億円と、直近3年連続で50億円以上の受注を上げていた。一方、同社以外の受注上位企業に目を移すと、20年度から21年度にかけて10位以内に入った8社が、受注額を下げた。中でも、受注が対前年度プラスだったのは大日本コンサルタントのみで、他7社は減少した。また自治体からも茨城県栃木県、富山県などを中心に約100件と、各方面で受注を伸ばした。2位は約40・9億円の大日本コンサルタント。新大宮上野道橋地区その7(約3・1億円)など国交省の全国各地から約40件受注したほか、茨城県、千葉県、山梨県など関東地方を中心に自治体の案件も80件超に上った。3位は約40・7億円の大日本コンサルタント。NEXCOS社から耐震補強設計を計17件受注したほか、国交省から30件、自治体も愛知県など合わせて30件超の受注だった。4位は約30・1億円のエイト日本技術開発。岡山県内の各市町村、鳥取県、東京都など自治体の案件が76件と受注件数の7割を占めたほか、近畿地方も西日本高速の耐震補強設計が目立った。5位は東京都の日野橋詳細設計や中日本高速の耐震補強設計など計約29・9億円受注した建設技術研究所だった。

21年度 全国橋梁設計・業務受注上位企業名 (単位:億円)

2021年度の全国の橋梁設計および業務の受注額トップは約57・9億円の大日本コンサルタントだった。同社の受注トップは3年連続で、受注額は前年度より約1・5億円増加した。受注上位10社のうち8社は前年度に引き続き10位以内を保っているが、このうち前年度より受注額が伸びたのは首位の大日本コンサルタントだけだった。(受注注額はすべて本紙独自集計)

大日本コンサルタントは19年度に約63・3億円受注で首位に返り咲き、20年度も約56・4億円と、直近3年連続で50億円以上の受注を上げていた。一方、同社以外の受注上位企業に目を移すと、20年度から21年度にかけて10位以内に入った8社が、受注額を下げた。中でも、受注が対前年度プラスだったのは大日本コンサルタントのみで、他7社は減少した。また自治体からも茨城県栃木県、富山県などを中心に約100件と、各方面で受注を伸ばした。2位は約40・9億円の大日本コンサルタント。新大宮上野道橋地区その7(約3・1億円)など国交省の全国各地から約40件受注したほか、茨城県、千葉県、山梨県など関東地方を中心に自治体の案件も80件超に上った。3位は約40・7億円の大日本コンサルタント。NEXCOS社から耐震補強設計を計17件受注したほか、国交省から30件、自治体も愛知県など合わせて30件超の受注だった。4位は約30・1億円のエイト日本技術開発。岡山県内の各市町村、鳥取県、東京都など自治体の案件が76件と受注件数の7割を占めたほか、近畿地方も西日本高速の耐震補強設計が目立った。5位は東京都の日野橋詳細設計や中日本高速の耐震補強設計など計約29・9億円受注した建設技術研究所だった。